



出雲崎中学校だより

＜第6号＞

出雲崎町立出雲崎中学校

TEL 0258-78-2137

FAX 0258-78-2164

令和6年12月24日発行

「自律」「慈愛」「挑戦」 ～2学期の教育活動③～

2学期 生徒の活躍の記録

【中体連主催 北信越大会・新人大会結果】

◇北信越中学校総合競技大会バドミントン競技《柏崎ジュニア：_____（2年）》

〔女子団体戦〕柏崎ジュニア 0-2 光陽中（福井県1位）

◇中越合同中学校新人水泳大会

〔200m自由形〕_____（2年） 4位

〔400m自由形〕_____（2年） 2位

〔200mバタフライ〕_____（1年） 3位

〔400m個人メドレー〕_____（1年） 3位

◇柏崎刈羽中学校新人野球大会《刈羽ウイングス：_____（1年）》

〔準決勝〕刈羽ウイングス 9-2 柏崎西部

〔決勝〕刈羽ウイングス 10-2 柏崎北部 ※優勝

◇長岡市三島郡中学校新人野球大会

〔予選リーグ戦〕出雲崎中 7-1 旭岡中

出雲崎中 3-1 1 宮内中 ※リーグ3位

◇長岡市三島郡新人卓球大会

【男子】〔個人戦（2年の部）〕惜敗

【女子】〔団体戦：予選リーグ〕出雲崎中 1-3 刈谷田中

出雲崎中 0-3 越路中

出雲崎中 3-2 長岡西中 ※リーグ3位

〔個人戦（1年の部）〕_____ ※5位（ベスト8）

◇長岡市三島郡中学校新人バレーボール大会

〔予選リーグ戦〕出雲崎中 0-2 江陽中

出雲崎中 2-0 寺泊中 ※リーグ2位

〔決勝トーナメント〕出雲崎中 1-2 三島中



【中体連主催 駅伝大会結果】

◇第34回中越地区中学校駅伝競走大会

【女子】34位 〔1区〕_____（2年） 〔2区〕_____（2年）

〔3区〕_____（2年） 〔4区〕_____（2年）

〔5区〕_____（1年） 〔補員〕_____（1年）

【男子】39位 〔1区〕_____（3年） 〔2区〕_____（2年）

〔3区〕_____（3年） 〔4区〕_____（3年）

〔5区〕_____（2年） 〔6区〕_____（2年）

〔補員〕_____（3年） _____（3年） _____（2年）

_____（2年） _____（2年） _____（2年）

【各種コンクール結果】

◇新潟県アンサンブルコンテスト

〔木管3重奏〕出雲崎中学校 「長月絵巻」

2年：_____、_____、_____ ※金賞（県代表選考会出場）

〔管楽7重奏〕出雲崎中学校 「黄金都市『エルドラード』」

2年：_____、_____、_____

1年：_____、_____、_____ ※銀賞

◇新潟県少年の主張大会—わたしの主張—長岡地域地区大会

〔奨励賞〕3年：_____ 「変える視点・変わる自分」

◇中学生の「税についての作文」

〔出雲崎町長賞〕3年：_____ 『私たちの身近な税金』

◇長岡市・三島郡中学校読書感想文審査会

〔優秀賞〕3年：_____ 『重ねて読む』

3年：_____ 『問題と向き合う勇気』

2年：_____ 『人と関わる』



◇いっしょに読もう！新聞コンクール
〔学校奨励賞〕出雲崎町立出雲崎中学校

◇良寛さんの心書道展

〔出雲崎町長賞〕3年：_____

〔出雲崎町教育長賞〕2年：_____ 1年：_____

〔特選〕3年：_____、_____ 2年：_____、_____ 1年：_____

〔準特選〕3年：_____、_____、_____

2年：_____、_____、_____

1年：_____、_____、_____

◇新潟県競書大会

〔銀賞〕2年：_____



※ 美術関係の表彰については、3学期の学校だよりで紹介させていただきます。

※ 新潟県少年の主張－わたしの主張－長岡地域地区大会・奨励賞に輝いた、3年：_____ さんの作文を紹介します。

『変える視点・変わる自分』

出雲崎中学校3年 _____



『お供えの花がちぎられている。福岡県のある霊園では、そのような相談が相次いでいました。何者によるいたずらなのかと、防犯カメラを設置すると、映っていたのは鹿の群れでした』というニュースが流れてきた。

まるで、鹿が一方向的に悪者のようなニュースだ。本当にそうなのだろうか。私は疑問を持った。そして、その霊園は、人間が山を開拓し作ったもので、本当に被害にあっているのは、従来住んでいた鹿や、ほかの動物なのではないかと考えた。私たち人間が安定した衣食住を求めるように、動物たちも同じ思いなのではないか。

私が住んでいる出雲崎町でも、イノシシの出現に注意を促す町内放送が、この春何回か流れた。実際今までも害獣として、駆除されているようだ。どうして、住んでいる森から人里へ来て害獣となったのだろうか。

滋賀県立大学環境科学部の研究によると、現在害獣とされているイノシシやサル、鹿などは、生息している森林から里山林に接した農地に現れやすく、被害が増大したのは、ここ十年ほどのことだそう。

今まで集落や農地周辺の山は人の手によって伐採が進み、里山林と呼ばれる、まばらな木々や低木が広がっていた。そこは、動物にとって、隠れる場所が少なく、恒常的に人が出入りする危険な場所で、立ち入ることは少なかった。つまり、人と動物の生活領域がはっきり区別されていたのだ。しかし、林業の担い手が減り、里山林を構成する間伐や伐採が行われなくなった。だから、今害獣とされている動物から見れば、荒らしている場所をただ森の延長と考えているのかもしれない。つまり、人が森の管理を続けられれば、動物が人里に下りてくるのを減らすことができるということだ。

このように、人間中心に考え、動物を「悪者」という視点で見れば、「排除する」という行動になる。しかし、共に生きるものとして動物のことを考えれば、命を奪わないよう「管理する」という行動を取るべきだろう。様々な視点から物事を考えることによって、それに基づく私たちの行動も大きく変化するのだ。

これから、私の学校では、総合的な学習の時間に、町の課題を解決する方法を考え、議員の皆様にご提案する機会がある。役場の方のお話では、「人口減少」「少子高齢化」の他に「担い手不足」が課題としてあげられた。それらの諸問題に向き合うとき、自分の利益を求めるという視点だけでなく、自然環境や多くの町民の立場に立って考え、誰もが幸せを感じられる実現可能な提案をしたいと思う。

このことをきっかけに、今までの自分の考え方はどうだったのかと振り返ってみた。リーダーとして行ったあるイベントで、「他人に任せるより、自分がやった方が早い」という考えに囚われ、他の人に頼れずに苦労したことがあった。しかし、別のイベントでは、友達の考えに耳を傾け、多くのアイデアを得て、効率よく楽しめる企画ができた。

そして、このようなこともあった。美術で、整った上手な絵を目指して描いていたが、結果面白みのない窮屈な絵になってしまった。そのとき、先生や友達にアドバイスを受けて、作品に手を加えると、今までとは異なり、個性のある絵が完成した。絵に対する自分の見方も豊かになり、自分の世界が広がった気がした。

このように、柔軟な心を持ち、多様な視点で物事をとらえることは、変動していくこれからの人生を、きっと豊かにしてくれるに違いない。私はこれから、何かに挑戦するとき、成長を目指して、この言葉を唱える。

「変える視点・変わる自分」